



Mimaki Target Color Emulator

Mimaki

リファレンスガイド

目次

ご注意	iii
この取扱説明書について	iii
本文中の表記について	iii
マークについて	iv
Mimaki Target Color Emulator について	v
全体の流れ	vi

1章 エミュレーションプロファイルを作成する前に

印刷するメディアを準備する	1-2
ターゲットの印刷システムをセットアップする	1-2
ミマキの印刷システムをセットアップする	1-3
MTCE を起動する	1-3
測色器を選択する	1-4
オプションを設定する	1-5
モードを選択する	1-6

2章 エミュレーションプロファイルを作成する

エミュレーションプロファイル作成の流れ	2-2
ターゲットの印刷	2-3
入力エミュレーションプロファイルの作成	2-4
i1 Pro の場合	2-4
i1 iO の場合	2-10
出力エミュレーションプロファイルの作成	2-16
エミュレーションプロファイルの保存	2-27

3章 エミュレーションプロファイルをインストールする

プロファイルマネージャーの起動	3-2
入力エミュレーションプロファイルのインストール	3-2
出力エミュレーションプロファイルのインストール	3-4
プロファイルマネージャーの終了	3-5

4章 エミュレーションプロファイルを使用して印刷する

RasterLink6 でエミュレーションプロファイルを使用して 印刷する	4-2
RasterLinkPro5 でエミュレーションプロファイルを使用して 印刷する	4-3

付録

エラーメッセージと対処方法	付録 -2
エミュレーションプロファイルを作成しても色が 合わない場合	付録 -3
測色時のエラーと対処方法	付録 -4
測色時のご注意 (i1 Pro)	付録 -5
測色結果が異常な場合に起こりうる現象	付録 -5
測色の途中で測色の異常を発見した場合	付録 -5
測色結果ファイルの測色結果を確認する	付録 -6
測色器を認識しない場合	付録 -9
測色器のドライバを確認する	付録 -9
測色器のドライバを更新する	付録 -10

索引

ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複写することは固くお断りいたします。
- 本書の内容に関しまして、将来予告無しに変更することがあります。
- 本ソフトウェアの改良変更等により、仕様面において本書の記載事項とが一部異なる場合があります。ご了承ください。
- 本ソフトウェアを他のディスクにコピーしたり（バックアップを目的とする場合を除く）、実行する以外の目的でメモリにロードすることを固く禁じます。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用時のメディア（ワーク）等の損失、メディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。
- 本書に記載している、すべてのブランド名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- Microsoft, Windows, Windows Vista, Windows 7, Windows 8, Windows 8.1, Windows 10 は、Microsoft Corporation の米国ならびにその他の国での登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、および商品名は、各社の商標または登録商標です。

この取扱説明書について

本書は、Mimaki Target Color Emulator の取り扱いについて説明しています。
本書では、測色器は i1 Pro を使用し、MTCE の“標準モード”を選択した場合を例に、エミュレーションプロファイルの作成手順を説明しています。
特に指示のない限り、測色器の i1 iO を使用している場合、または MTCE の“標準モード”以外のモードを選択している場合も同じ手順で行います。

本文中の表記について

メニューに表示される項目は、“新規作成”のように“ ”で表記します。
ダイアログに表示されるボタンは、**OK** のように で表記します。
ダイアログに表示されるタブは、[グレーバランス] のように [] で表記します。


インク色表記について


インク色を次のように省略して表記します。

C= Cyan, M= Magenta, Y= Yellow, K= Black,

Lc= Light cyan, Lm= Light magenta, Lk=Light black, Or=Orange, G=Green

マークについて

 **重要!** 操作を行う上での注意点、重要点を説明しています。

 知っていると便利なことについて説明しています。

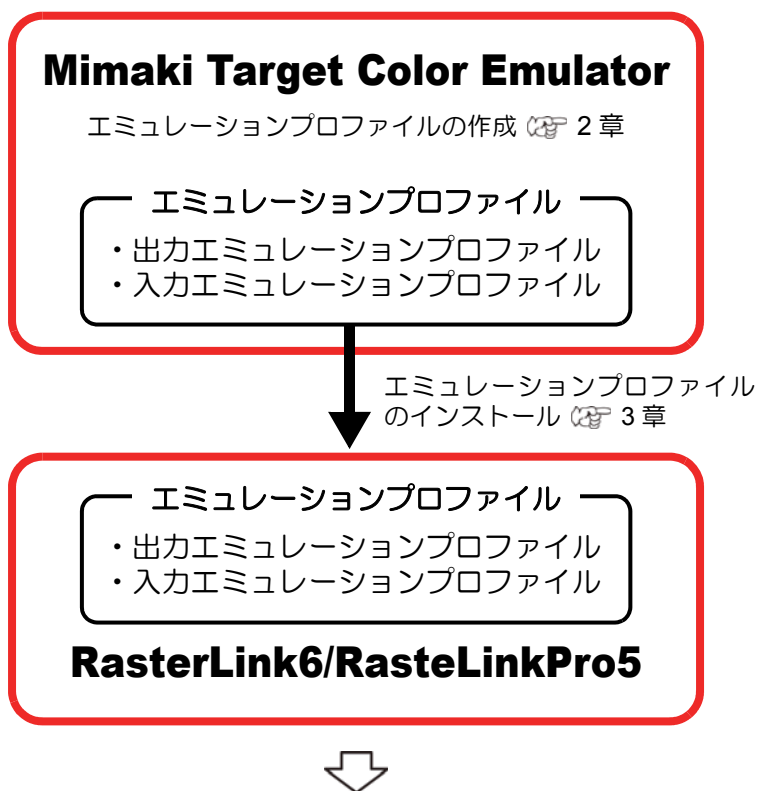
 関連した内容の参照ページを示しています。

Mimaki Target Color Emulator について

Mimaki Target Color Emulator (以下 MTCE) は、ターゲットのプリンタ(他社のプリンタ/ミマキの別プリンタ)で印刷した成果物の色味を、ミマキのプリンタで再現(カラーエミュレーション)するためのアプリケーションです。

カラーエミュレーションは、カラーエミュレーション専用の入力プロファイル(以下、入力エミュレーションプロファイル)と、カラーエミュレーション専用のデバイスプロファイル(以下、出力エミュレーションプロファイル)を作成し、RasterLink6(以下 RL6)/RasterLinkPro5(以下 RLP5)にインストールして使用することで実現します。

MTCE で作成した入力エミュレーションプロファイルと出力エミュレーションプロファイル(以下、エミュレーションプロファイル)を RL6/RLP5 にインストールすることによって、作成したエミュレーションプロファイルを適用した出力ができます。



ターゲットのプリンタで印刷した色に近付けた色で出力します。

全体の流れ

1 章. エミュレーションプロファイルを作成する前に

エミュレーションプロファイルを作成するための事前準備を行います。

- ◆印刷するメディアを準備する
- ◆ターゲットの印刷システムをセットアップする
- ◆ミマキの印刷システムをセットアップする
- ◆MTCE を起動する
- ◆測色器を選択する
- ◆オプションを設定する
- ◆モードを選択する

2 章. エミュレーションプロファイルを作成する

実際にエミュレーションプロファイルを作成します。

- ◆ターゲットの印刷
- ◆入力エミュレーションプロファイルの作成
- ◆出力エミュレーションプロファイルの作成
- ◆エミュレーションプロファイルの保存

3 章. エミュレーションプロファイルをインストールする

作成した入力/出力エミュレーションプロファイルを RL6/ RLP5 にインストールします。

4 章. エミュレーションプロファイルを使用して印刷する

インストールした入力/出力エミュレーションプロファイルを使用して印刷します。

1章 エミュレーションプロファイルを 作成する前に

エミュレーションプロファイルを作成するための事前準備を行います。

印刷するメディアを準備する	1-2
ターゲットの印刷システムをセットアップする	1-2
ミマキの印刷システムをセットアップする	1-3
MTCE を起動する	1-3
測色器を選択する	1-4
オプションを設定する	1-5
モードを選択する	1-6

印刷するメディアを準備する

1 エミュレーションで使用するメディアを用意してください。

重要!

◆ ターゲットの印刷システムで使用するメディアと、ミマキの印刷システムで使用するメディアは、同じ種類のものを使用してください。メディアの種類が異なる場合、メディア自体の色が影響し、エミュレーションの精度が低下する恐れがあります。

ターゲットの印刷システムをセットアップする


1 エミュレーションのターゲットとなるプリンタでセットアップを行ってください。


- ・ チャートを印刷できるように、メディアの取り付けやメンテナンス等、プリンタのセットアップを行ってください。


重要!

◆ エミュレーションプロファイルを作成するためのチャートの最小サイズ(*1)は、エミュレーションプロファイルを作成するモード(*2)と測色器(*3)の組合せにより異なります。
エミュレーションのターゲットとなる印刷システムで以下のサイズを印刷できない場合、エミュレーションプロファイルは作成できません。

	測色器	
	i1Pro/ Pro2	i1iO/ iO2
標準モード	300 x 210 mm	288 x 184 mm
多色モード	293 x 216 mm	319 x 226 mm
高精細モード	293 x 253 mm	294 x 205 mm

*1 分割チャートが最小のチャートです。分割チャートについては、「ターゲットの印刷」( P.2-3) をご覧ください。

*2 モードについては、「モードを選択する」( P.1-6) をご覧ください。

*3 測色器については、「測色器を選択する」( P.1-4) をご覧ください。

2 エミュレーションのターゲットとなる印刷条件を決定してください。

- ・ 決定すべき印刷条件は以下の通りです。

No.	印刷条件
1	機種
2	インク
3	インクセット構成 (CMYK、CMYKLcLm、等)
4	メディア
5	解像度
6	ターゲットの RIP 特有のカラー調整設定、等


ミマキの印刷システムをセットアップする

- 1 ミマキのプリンタでセットアップを行ってください。
 - チャートを印刷できるように、メディアの取り付けやメンテナンス等、プリンタのセットアップを行ってください。
- 2 エミュレーションのベースにするデバイスプロファイルを用意してください。
 - 出力エミュレーションプロファイル作成時に、選択する必要があります。

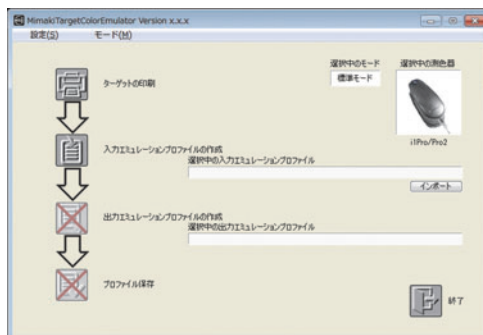
重要!

- ◆ エミュレーションのベースにするデバイスプロファイルは、P.1-2『ターゲットの印刷システムをセットアップする』で決めた印刷条件に近い条件のものを選択してください。(インクセット構成、メディア、解像度、等)印刷条件が大きく異なる場合、エミュレーションの精度が低下する恐れがあります。
- ◆ V3 プロファイル (拡張子は "icc") 以外は選択できません。

MTCE を起動する

- 1  をダブルクリックし、MTCE を起動します。

- MTCE を起動すると右の画面を表示します。



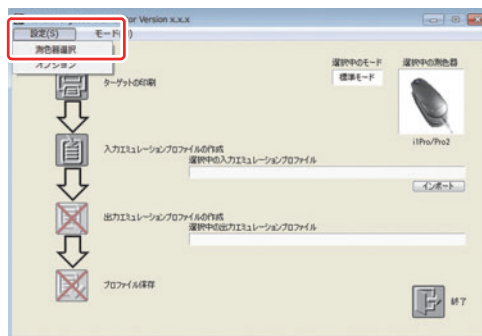
測色器を選択する

チャートを測色する測色器を選びます。

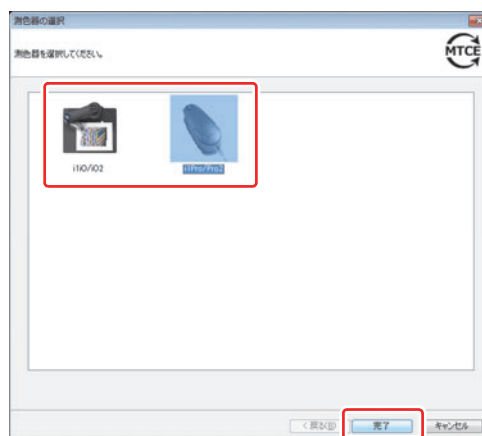
重要!

- ◆ 測色器が PC と接続され、電源が入っていることを確認してください。
- ◆ USB を使用して測色器を接続する場合、ドライバのインストールが必要になります。測色器に付属の取扱説明書を参照し、ドライバをインストールしたあとに測色器と PC を接続してください。
- ◆ Windows7 で測色器を使用する場合、PC と接続したときにドライバのインストールに失敗することがあります。付録 “測色器を認識しない場合” を参照して、ドライバを更新してください。

- 1 [設定]メニューより[測色器選択]を選択します。



- 2 測色器を選択します。



- 3 **完了** をクリックします。
 - ・ メイン画面を表示します。

オプションを設定する

オプション設定では、次の設定ができます。

表示 : 長さの単位を mm/inch のどちらで表示するか選択

ラベル : デバイスプロファイルの作成 / 編集で、画像をプリントするとき印刷する項目を選択します。

画像ファイル名

印刷した画像ファイルの名前を印字。

プロファイルデータ情報

メディア補正值 / インクリミット値 / バリアブルドットとライトインクの設定値 / インポートしたファイル名のうち、設定されている項目を印字。

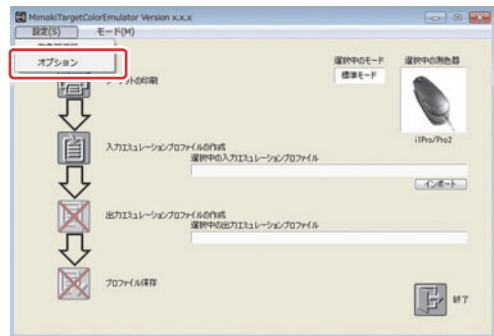
初期設定の印刷条件

パス数 / 重ね塗り回数 / 印刷方向 / 高速印刷の設定 / ハーフトーンの設定を印字。

テストプリント時の印刷条件

テストプリント時に個別に設定した項目を印字。

1 [設定]メニューより[オプション]を選択します。



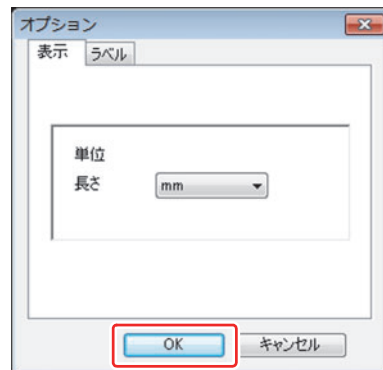
2 設定するタブを選択します。

- [表示] [ラベル] から、設定するタブを選択します。

3 設定します。

- 表示** : 表示する単位を選ぶ
- ラベル** : 印刷する項目をチェック

4 **OK** をクリックします。



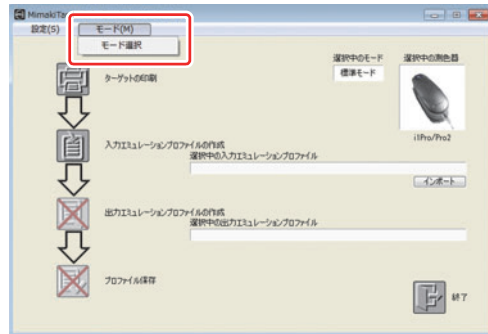
モードを選択する

エミュレーションプロファイルを作成するモードを選びます。

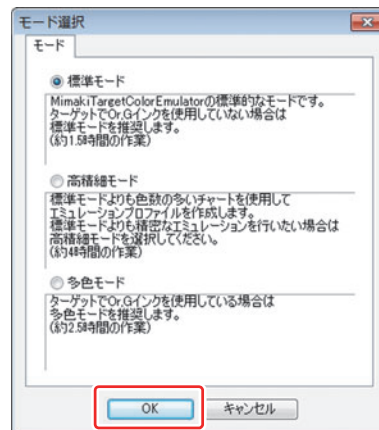
重要!

◆ ターゲットのプリンタで Or(オレンジ)、G(グリーン) インクを使用している場合は、多色モードを選択してください。
エミュレーションプロファイルを保存する前にモードを変更すると、作成済みのエミュレーションプロファイルは削除されます。

1 [モード]メニューより[モード選択]を選択します。



2 モードを選択し、**OK** をクリックします。



2章 エミュレーションプロファイルを作成する

実際にエミュレーションプロファイルを作成します。

エミュレーションプロファイル作成の流れ	2-2
ターゲットの印刷	2-3
入力エミュレーションプロファイルの作成	2-4
出力エミュレーションプロファイルの作成	2-16
エミュレーションプロファイルの保存	2-27

エミュレーションプロファイル作成の流れ

◆ ターゲットの印刷  P.2-3

ターゲットの印刷システムで、エミュレーション用のチャートを印刷します。



◆ 入力エミュレーションプロファイルの作成  P.2-4

ターゲットの印刷システムで印刷したチャートを測色し、入力エミュレーションプロファイルを作成します。



◆ 出力エミュレーションプロファイルの作成  P.2-16

ミマキのプリンタでエミュレーション用のチャートを印刷、測色し、出力エミュレーションプロファイルを作成します。また、必要であれば色差の確認、およびフィードバックを行います。



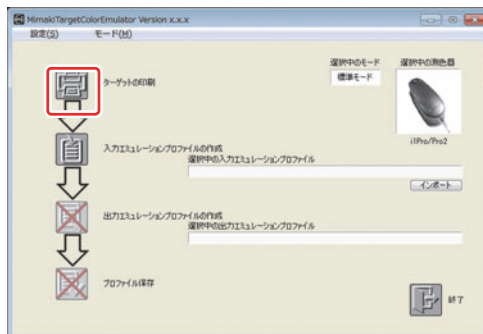
◆ エミュレーションプロファイルの保存  P.2-27

作成した入力/出力エミュレーションプロファイルを保存します。

ターゲットの印刷

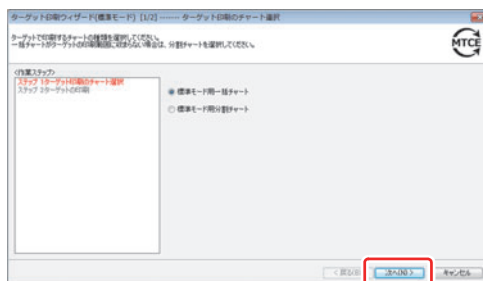
1 “ターゲットの印刷”をクリックします。

- ターゲット印刷ウィザード 1 が表示されます。



2 ターゲットで印刷するチャートを選択し、「次へ」をクリックします。

- 一括チャートがターゲットの印刷システムで印刷できない場合は、分割チャートを選択してください。



3 印刷するチャートを確認します。

- 画面には、印刷するチャートのファイル名/画像の縮尺/ファイルサイズが表示されます。
- 「フォルダ表示」をクリックすると、チャートが保存してあるフォルダを表示します。



4 手順3で確認したチャートを、ターゲットの印刷システムに入力します。

5 P.1-2「ターゲットの印刷システムをセットアップする」で決定した印刷条件でチャートを印刷します。

- 印刷したチャートは、P.2-4「入力エミュレーションプロファイルの作成」で使用しますので、保管しておいてください。

6 「完了」をクリックします。

- メイン画面を表示します。

入力エミュレーションプロファイルの作成

お使いになる測色器によって測色方法が異なります。

i1 Pro の場合



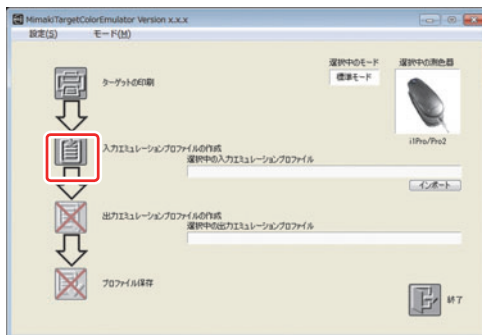
- ◆ 既存の入力エミュレーションプロファイルを使用する場合、**インポート**をクリックし、入力エミュレーションプロファイル（拡張子は "icm"）を選択してください。
- ◆ 同じモードで作成した入力エミュレーションプロファイルしかインポートできません。
- ◆ 既存の入力エミュレーションプロファイルをインポートした場合は、引き続き、「出力エミュレーションプロファイルの作成」(P.2-16) へ進んでください。



1

“入力エミュレーションプロファイルの作成” をクリックします。

- 入力エミュレーションプロファイル作成ウィザード 1 が表示されます。



2

作成 をクリックします。



3 測色する をクリックします。



4 MeasureTool5.0 が起動します。



重要!

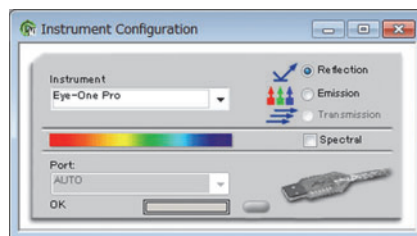
- ◆チャートは、測色しやすい平らな場所に設置してください。
- ◆MeasureTool5.0で“Language”の設定を変更しないでください。

5 ツールバーの“Device/Port” をクリックします。



6 “Instrument Configuration” が起動します。次の項目を確認してください。

- “Instrument” には、“Eye-One Pro”が表示されている
- “Reflection” が選択されている
- “Spectral” がチェックされていない
- “Port” の下に「OK」を表示している

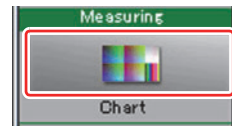


重要!

- ◆設定されている測色器を変更しないでください。

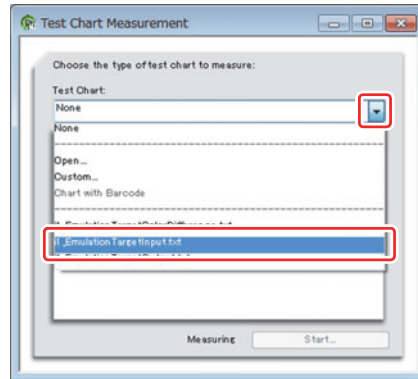
7 “Instrument Configuration” を閉じます。

8 ツールバーの“Chart” をクリックします。



9 “Test Chart” の [▼] をクリックします。

- 測色したい要素の名前がついたチャートを選択してください。



◆ 入力エミュレーションプロファイルを作成する場合、次のチャート名を選択してください。

標準モードで作成する場合 : 「i1_EmulationInput_Basic.txt」を選択

多色モードで作成する場合 : 「i1_EmulationInput_Advanced.txt」を選択

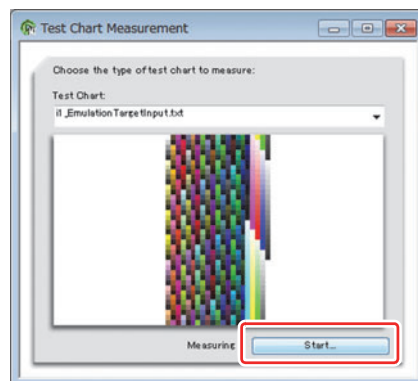
高精細モードで作成する場合 : 「i1_EmulationInput_Plus.txt」を選択

◆ ターゲットの印刷システムで印刷したチャート (P.2-3) を測色してください。

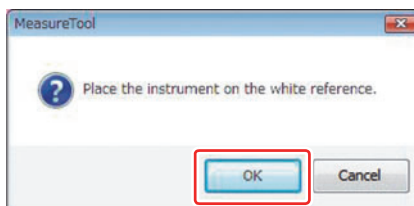
◆ 印刷したチャート上部に選択するチャート名が印刷されています。



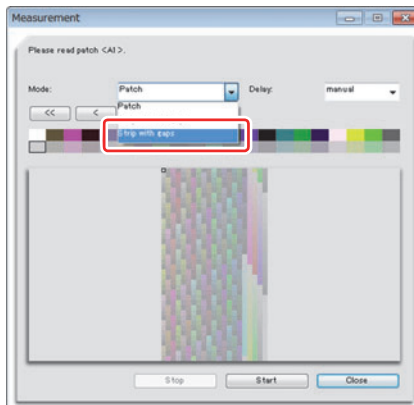
10 Start をクリックします。



- 11 次のダイアログを表示したら、測色器本体を白色基準タイルの上に乗せ、**OK** をクリックします。



- 12 “Mode” の設定を [Strip with gaps] にします。

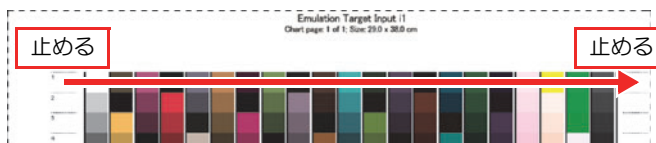


- 13 チャートの 1 の行に、測色器付属の基本チャート用測定ガイドを置きます。

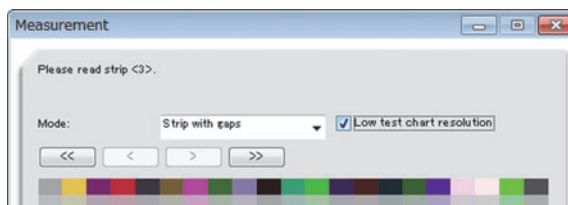
- 14 基本チャート用測定ガイドに測色器を合わせ測色します。



- ◆ 測定ボタンを押しながら、左から右にゆっくりと一定のスピードでスライドさせて、測色してください。



- ◆ 詳細については、測色器の取扱説明書をご覧ください。
- ◆ 低解像度のチャートを測色する場合、“Low test chart resolution” のチェックを ON にします。

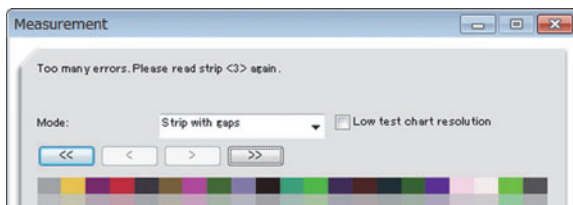


◆ 正常に測色できた場合

測色が完了した行の色が変わり、次の行の測色を指示する表示になります。

◆ 正常に測色できなかった場合

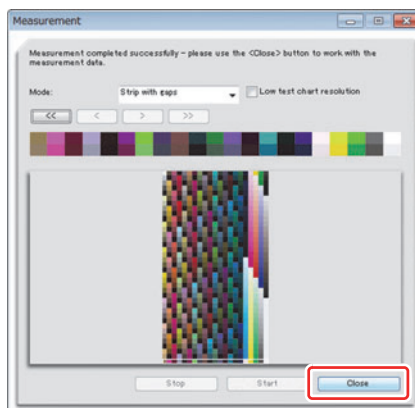
測色できなかったことを表すメッセージを表示します。測色し直してください。



◆ メッセージが表示されない場合でも、正常に測色できない場合があります。詳細については、付録を参照してください。

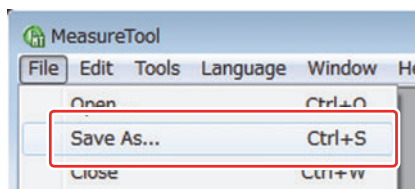
15 同様に他の行も順番に測色します。

16 すべての測色が完了したら、**Close** をクリックします。



17 メニューバーから **[File] → [Save As...]** を選択し、測色結果を保存します。

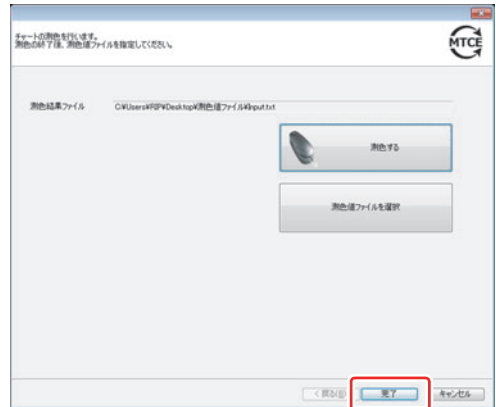
- 測色結果は、必ず“ファイルの種類”を [Text Files(*.txt *.text)] にして保存してください。



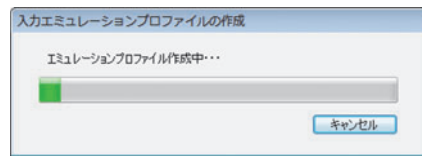
18 MeasureTool 5.0 を終了させます。

- “測色結果ファイル”に、手順 17 で保存したファイル名が表示されていることを確認してください。

19 **完了** をクリックします。



20 入力エミュレーションプロファイルの作成を始めます。

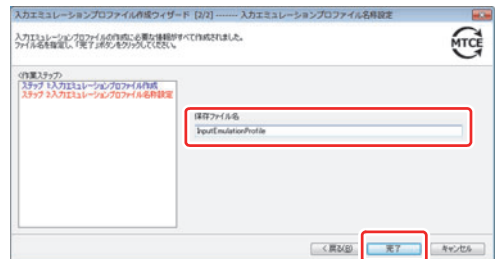


21 **OK** をクリックします。
 ・ 入力エミュレーションプロファイル作成ウィザードに戻ります。

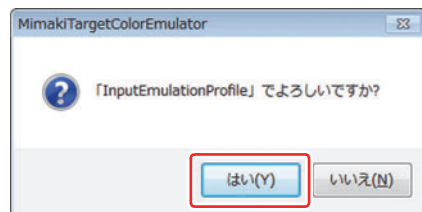


22 ファイル名を入力します。

23 **完了** をクリックします。



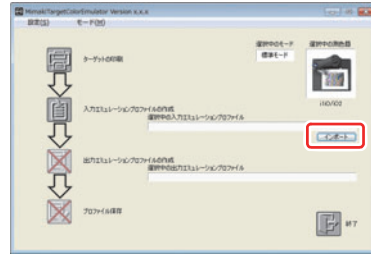
24 **はい** をクリックします。
 ・ メイン画面を表示します。
 ・ メイン画面の“選択中の入力エミュレーションプロファイル”に設定したファイル名を表示します。



i1 iO の場合



- ◆ 既存の入力エミュレーションプロファイルを使用する場合、**インポート** をクリックし、入力エミュレーションプロファイル（拡張子は "icm"）を選択してください。
- ◆ 同じモードで作成した入力エミュレーションプロファイルしかインポートできません。
- ◆ 既存の入力エミュレーションプロファイルをインポートした場合は、引き続き、「出力エミュレーションプロファイルの作成」(P.2-16) へ進んでください。



1

“入力エミュレーションプロファイルの作成” をクリックします。

- 入力エミュレーションプロファイル作成ウィザード 1 が表示されます。



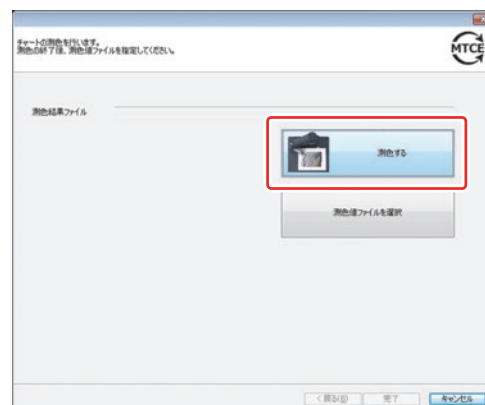
2

作成 をクリックします。



3

測色する をクリックします。



4 MeasureTool5.0 が起動します。



重要!

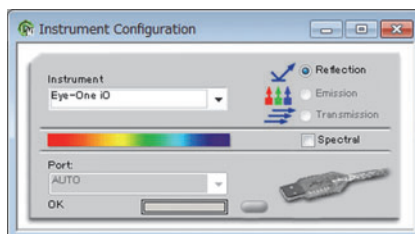
- ◆ 端が反るようなメディアを測色する場合は、端が浮き上がらないように、テープ等で固定してください。
- ◆ MeasureTool5.0 で“Language”の設定を変更しないでください。

5 ツールバーの“Device/Port”をクリックします。



6 “Instrument Configuration” が起動します。次の項目を確認してください。

- “Instrument”には、“Eye-One iO”が表示されている
- “Reflection”が選択されている
- “Spectral”がチェックされていない
- “Port”の下に「OK」を表示している

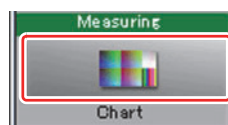


重要!

- ◆ 設定されている測色器を変更しないでください。

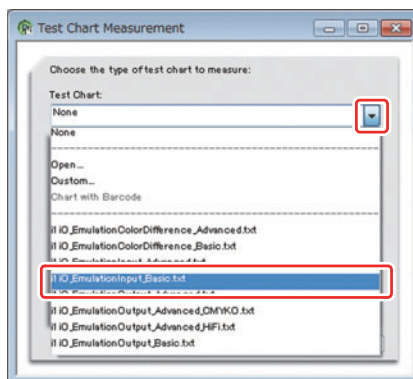
7 “Instrument Configuration” を閉じます。

8 ツールバーの“Chart”をクリックします。



9 “Test Chart” の [▼] をクリックします。

- 測色したい要素の名前がついたチャートを選択してください。



◆ 入力エミュレーションプロファイルを作成する場合、次のチャート名を選択してください。

標準モードで作成する場合 : 「i1iO_EmulationInput_Basic.txt」を選択

多色モードで作成する場合 : 「i1iO_EmulationInput_Advanced.txt」を選択

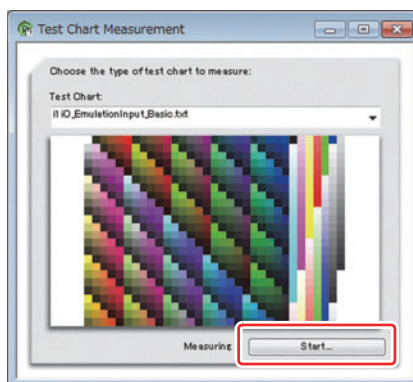
高精細モードで作成する場合 : 「i1iO_EmulationInput_Plus.txt」を選択

◆ ターゲットの印刷システムで印刷したチャート (P.2-3) を測色してください。

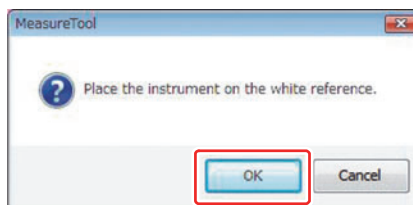
◆ 印刷したチャート上部に選択するチャート名が印刷されています。



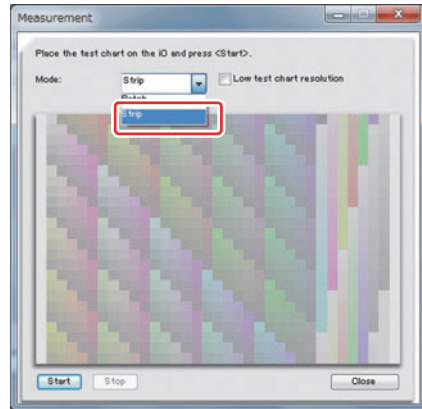
10 Start をクリックします。



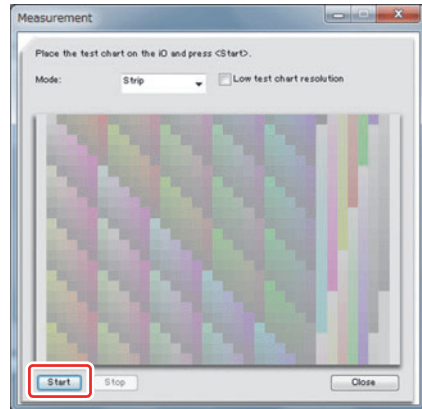
11 次のダイアログを表示したら、測色器本体を白色基準タイルの上に乗せ、OK をクリックします。



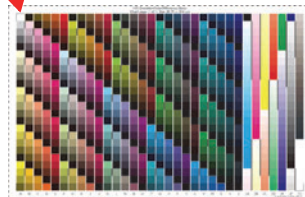
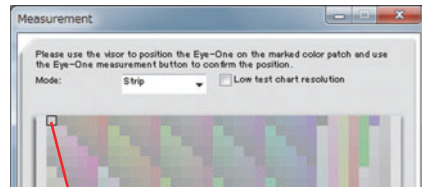
- 12 “Mode” の設定を [Strip] にします。



- 13 **Start** をクリックします。



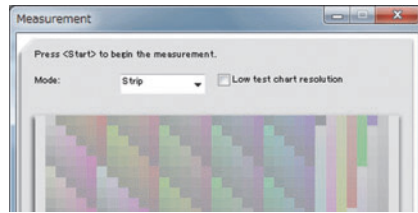
- 14 Eye-One iOのアームを手で動かし、位置確認用スケールを画面上で示している部分(左上)に合わせます。



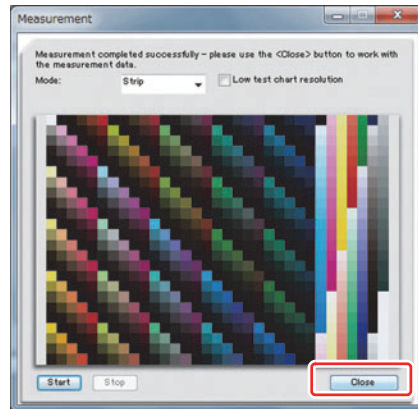
- 15 Eye-One iO の側面にあるボタンを押します。

16 手順 14 と同様に、左下、右下の順番で位置確認用スケールを合わせます。

- 右下を合わせた後、次の画面が表示されます。
- 用意ができたなら **Start** をクリックしてください。
自動的に測色を開始します。

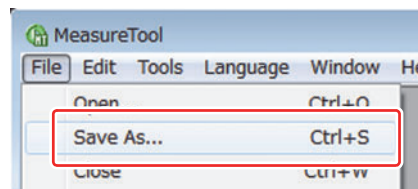


17 すべての測色が完了したら、**Close** をクリックします。



18 メニューバーから **[File]** → **[Save As...]** を選択し、測色結果を保存します。

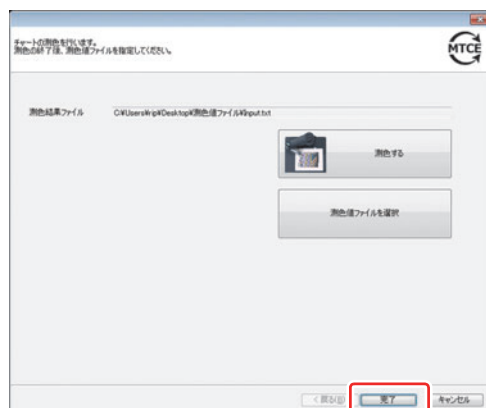
- 測色結果は、必ず“ファイルの種類”を [Text Files(*.txt *.text)] にして保存してください。



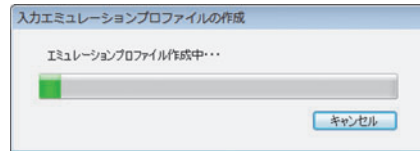
19 MeasureTool 5.0 を終了させます。

- “測色結果ファイル”に、手順 18 で保存したファイル名が表示されていることを確認してください。

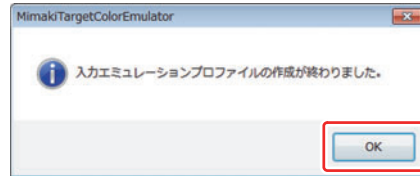
20 **完了** をクリックします。



21 入力エミュレーションプロファイルの作成を始めます。

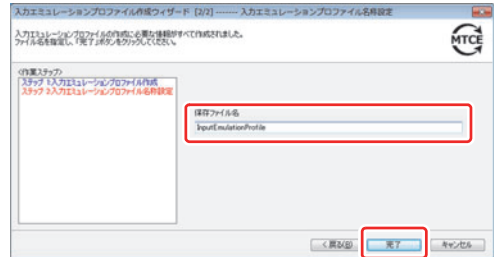


22 **OK** をクリックします。
 ・入力エミュレーションプロファイル作成ウィザードに戻ります。

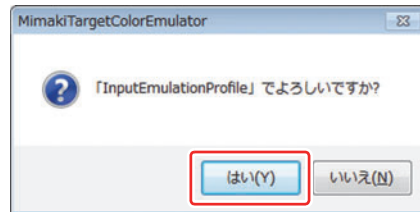


23 ファイル名を入力します。

24 **完了** をクリックします。



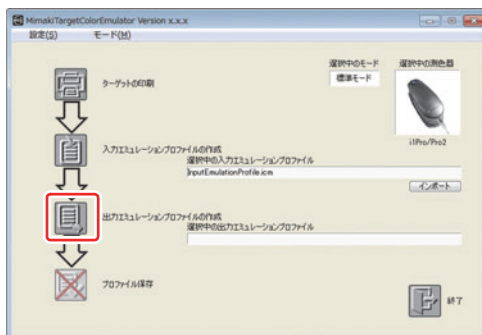
25 **はい** をクリックします。
 ・メイン画面を表示します。
 ・メイン画面の“選択中の入力エミュレーションプロファイル”に設定したファイル名を表示します。



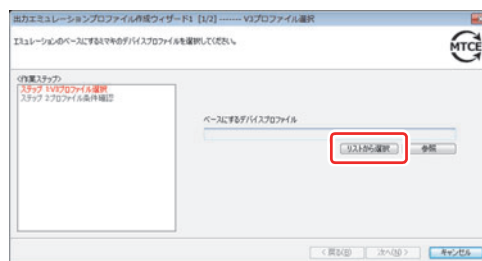
出力エミュレーションプロファイルの作成

1 “出力エミュレーションプロファイルの作成” をクリックします。

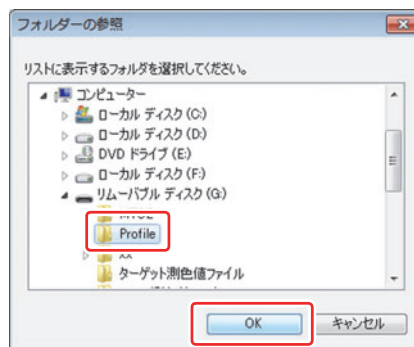
- 出力エミュレーションプロファイル作成ウィザード 1 が表示されます。



2 リストから選択 をクリックします。



3 エミュレーションのベースにするデバイスプロファイルを保存しているフォルダを指定します。

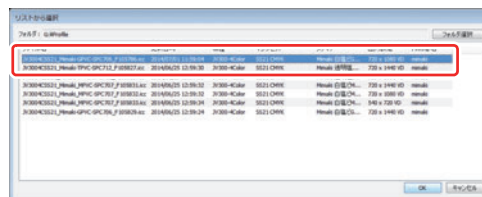


4 OK をクリックします。

5 エミュレーションのベースにするデバイスプロファイルを選択します。



◆ P.1-3 「ミマキの印刷システムをセットアップする」で用意したデバイスプロファイルを選択してください。

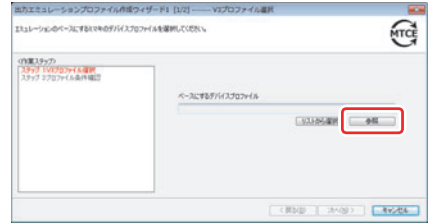


6 **OK** をクリックします。

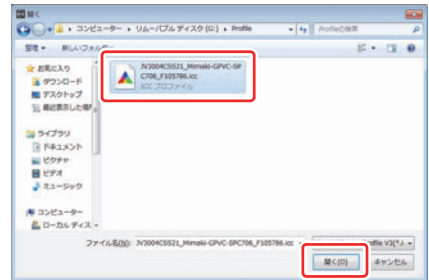


◆手順 2 で**参照**をクリックすると、デバイスプロファイルを直接指定できます。

(1) **参照** をクリックします。

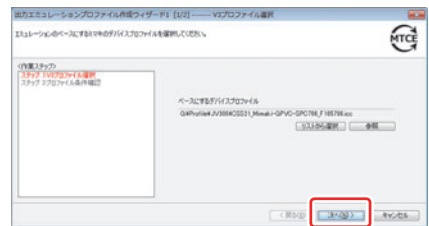


(2) エミュレーションのベースにするデバイスプロファイルを選択します。

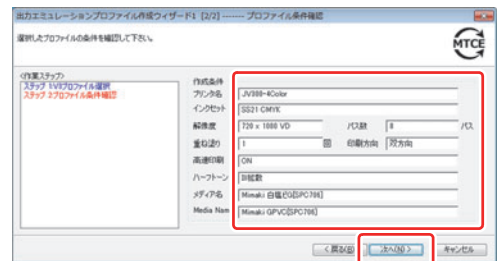


(3) **開く** をクリックします。

(4) **次へ** をクリックします。



7 作成条件を確認し、**次へ** をクリックします。

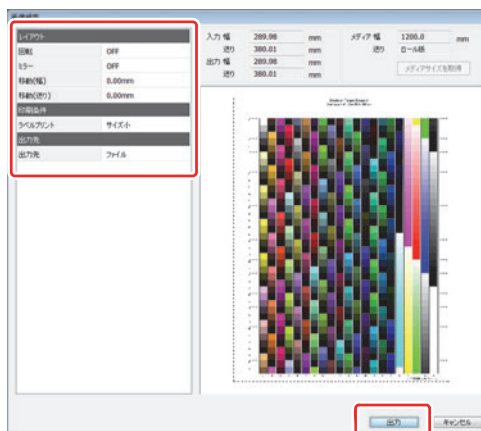


8 **チャート出力** をクリックします。

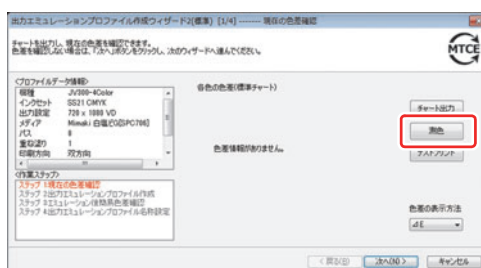


9 レイアウト、印刷条件を設定します。

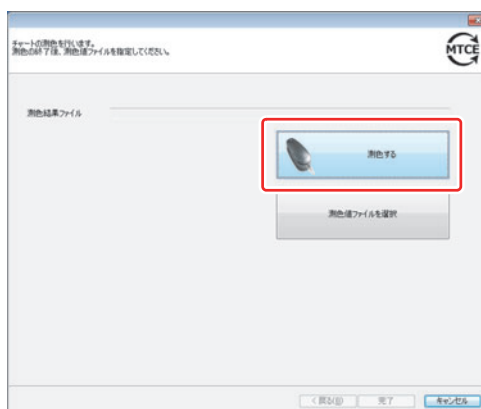
10 **出力** をクリックします。
• プリンタでチャートを印刷します。



11 **測色** をクリックします。



12 **測色する** をクリックします。



13 MeasureTool5.0 が起動します。



14 測色します。



◆ 手順 10 で印刷したチャートを測色します。

測色器が i1 Pro の場合

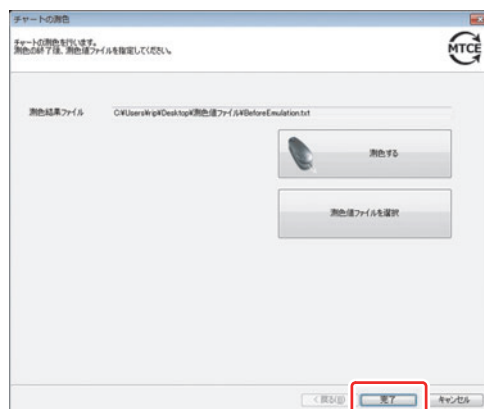
- ◆ 「入力エミュレーションプロファイルの作成」手順5～18(P.2-5)を参照してください。
- ◆ 次のチャート名を選択してください。
 - 標準モードで作成する場合 : 「i1_EmulationColorDifference_Basic.txt」を選択
 - 多色モードで作成する場合 : 「i1_EmulationColorDifference_Advanced.txt」を選択
 - 高精細モードで作成する場合 : 「i1_EmulationColorDifference_Plus.txt」を選択

測色器が i1 iO の場合

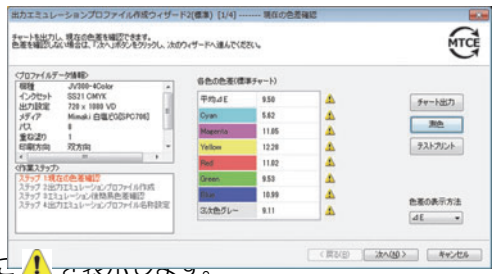
- ◆ 「入力エミュレーションプロファイルの作成」手順5～10(P.2-11)を参照してください。
- ◆ 次のチャート名を選択してください。
 - 標準モードで作成する場合 : 「i1 iO_EmulationColorDifference_Basic.txt」を選択
 - 多色モードで作成する場合 : 「i1 iO_EmulationColorDifference_Advanced.txt」を選択
 - 高精細モードで作成する場合 : 「i1 iO_EmulationColorDifference_Plus.txt」を選択
- ◆ 印刷したチャート上部に選択するチャート名が印刷されています。

15 測色が終了したら、
完了 をクリックします。

- “測色結果ファイル”に、MeasureTool5.0で保存したファイル名が表示されていることを確認してください。



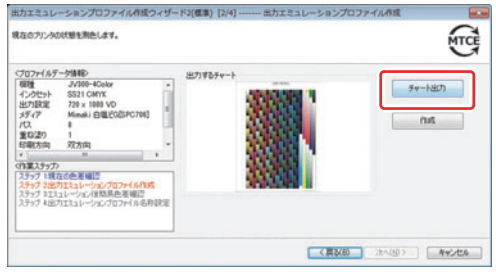
16 現在の各色の色差を表示します。



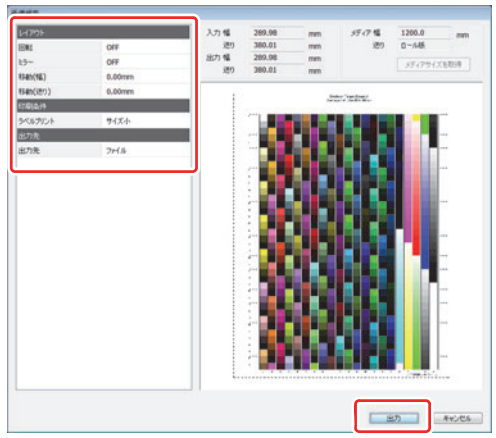
- ◆ 色差が 3.01 以上になると、右側に が表示されます。
- ◆ 色差の表示方法は ΔE、ΔE94、ΔE2000 から選択できます。
- ◆ 実際に印刷して目視確認を行いたい場合は、オプションの **「テストプリント」** をクリックし、任意の TIFF ファイルを選択して印刷できます。
- ◆ **「テストプリント」** をクリックして表示される「TestPrint_Emulation.tif」を印刷すると、ターゲットの印刷システムで印刷したサンプル (図 P.2-3) と目視確認できます。

17 **「次へ」** をクリックします。

18 **「チャート出力」** をクリックします。



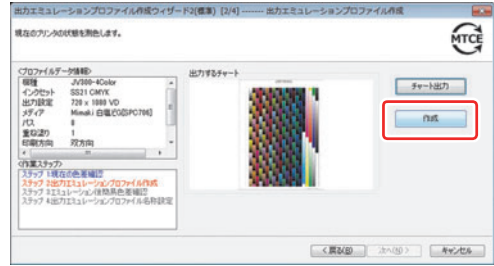
19 レイアウト、印刷条件を設定します。



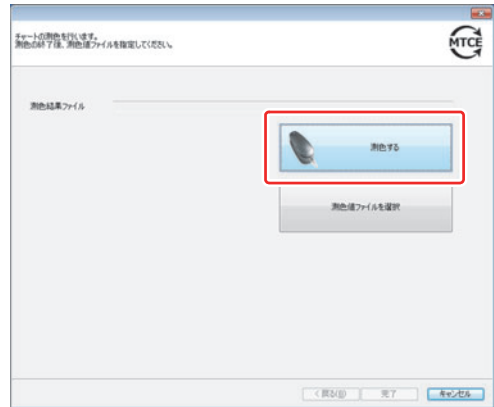
20 **「出力」** をクリックします。
 ・ プリンタでチャートを印刷します。

2章 エミュレーションプロファイルを作成する

21 作成 をクリックします。



22 測色する をクリックします。



23 MeasureTool5.0 が起動します。



24 測色します。



◆ 手順 20 で印刷したチャートを測色します。

測色器が i1 Pro の場合

- ◆ 「入力エミュレーションプロファイルの作成」手順5～18(図 P.2-5)を参照してください。
- ◆ 標準モードの場合、チャート名は「i1_EmulationOutput_Basic.txt」を選択してください。
- ◆ 多色モードの場合は次のチャート名を選択してください。
CMYKOrG インクセット : i1_EmulationOutput_Advanced_HiFi.txt
CMYKLkOr / CMYKLcLmLkOr インクセット: i1_EmulationOutput_Advanced_CMYKO.txt
その他のインクセット : i1_EmulationOutput_Advanced.txt
- ◆ 高精細モードの場合、チャート名は「i1_EmulationOutput_Plus.txt」を選択してください。

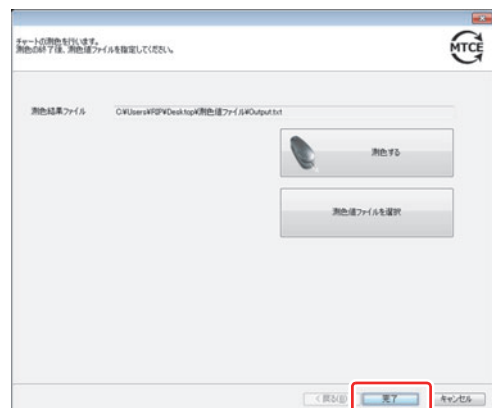
測色器が i1 iO の場合

- ◆ 「入力エミュレーションプロファイルの作成」手順5～10(図 P.2-11)を参照してください。
- ◆ 標準モードの場合、チャート名は「i1 iO_EmulationOutput_Basic.txt」を選択してください。
- ◆ 多色モードの場合は次のチャート名を選択してください。
CMYKOrG インクセット : i1 iO_EmulationOutput_Advanced_HiFi.txt
CMYKLkOr / CMYKLcLmLkOr インクセット: i1 iO_EmulationOutput_Advanced_CMYKO.txt
その他のインクセット : i1 iO_EmulationOutput_Advanced.txt
- ◆ 高精細モードの場合、チャート名は「i1 iO_EmulationOutput_Plus.txt」を選択してください。
- ◆ 印刷したチャート上部に選択するチャート名が印刷されています。

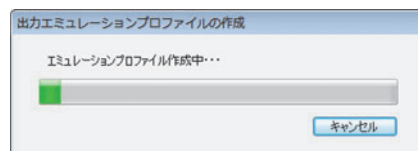


25 測色が終了したら、 完了 をクリックします。

- “測色結果ファイル”に、Measure Tool5.0 で保存したファイル名が表示されていることを確認してください。



26 出力エミュレーションプロファイルの作成を始めます。

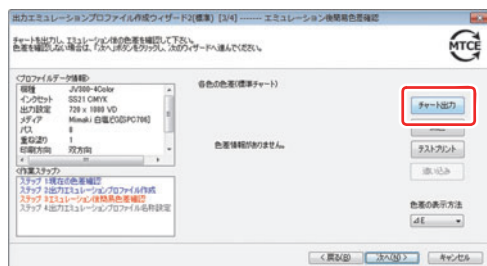


2章 エミュレーションプロファイルを作成する

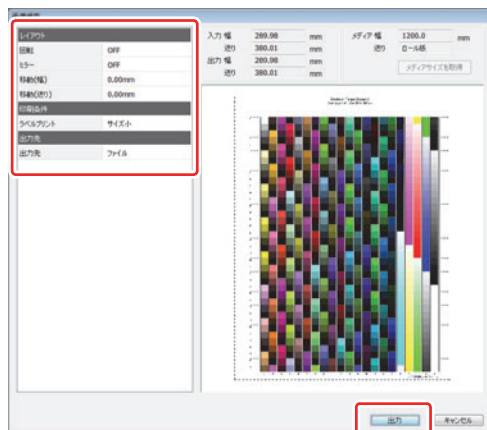
- 27** **OK** をクリックします。
- 出力エミュレーションプロファイル作成ウィザードに戻ります。



- 28** **チャート出力** をクリックします。

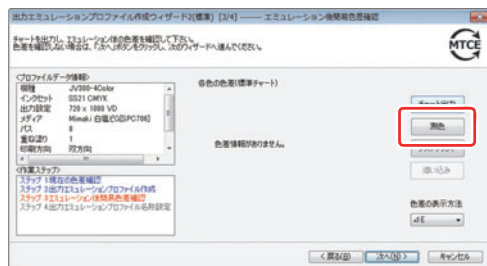


- 29** レイアウト、印刷条件を設定します。



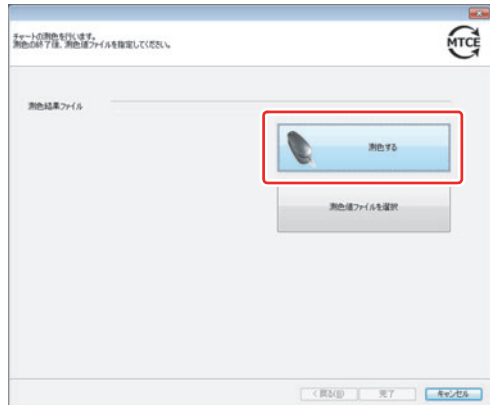
- 30** **出力** をクリックします。
- プリンタでチャートを印刷します。

- 31** **測色** をクリックします。



32

測色する をクリックします。



33

MeasureTool5.0 が起動します。



34

測色します。



◆ 手順 30 で印刷したチャートを測色します。

測色器が i1 Pro の場合

- ◆ 「入力エミュレーションプロファイルの作成」手順5～18(P.2-5)を参照してください。
- ◆ 次のチャート名を選択してください。
 - 標準モードで作成する場合 : 「i1_EmulationColorDifference_Basic.txt」を選択
 - 多色モードで作成する場合 : 「i1_EmulationColorDifference_Advanced.txt」を選択
 - 高精細モードで作成する場合 : 「i1_EmulationColorDifference_Plus.txt」を選択

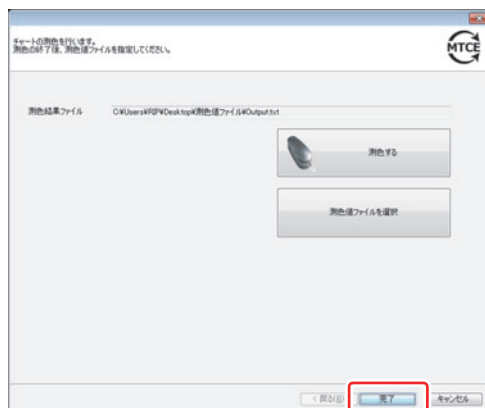
測色器が i1 iO の場合

- ◆ 「入力エミュレーションプロファイルの作成」手順5～10(P.2-11)を参照してください。
- ◆ 次のチャート名を選択してください。
 - 標準モードで作成する場合 : 「i1 iO_EmulationColorDifference_Basic.txt」を選択
 - 多色モードで作成する場合 : 「i1 iO_EmulationColorDifference_Advanced.txt」を選択
 - 高精細モードで作成する場合 : 「i1 iO_EmulationColorDifference_Plus.txt」を選択
- ◆ 印刷したチャート上部に選択するチャート名が印刷されています。

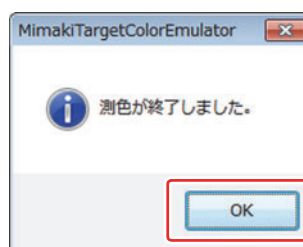


35 測色が終了したら、**完了**をクリックします。

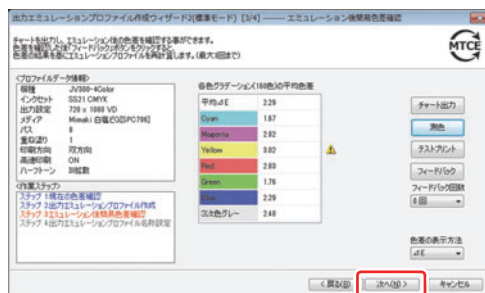
- “測色結果ファイル”に、Measure Tool5.0 で保存したファイル名が表示されていることを確認してください。




36 **OK**をクリックします。



37 各色の色差を表示します。



- ◆ 色差が 3.01 以上になると、右側に  を表示します。
- ◆ 色差の表示方法は ΔE 、 ΔE_{94} 、 ΔE_{2000} から選択できます。
- ◆ 実際に印刷して目視確認を行いたい場合は、オプションの **テストプリント** をクリックし、任意の TIFF ファイルを選択して印刷できます。
- ◆ **テストプリント** をクリックして表示される「TestPrint_Emulation.tif」を印刷すると、ターゲットの印刷システムで印刷したサンプル (P.2-3) と目視確認できます。
- ◆ **フィードバック** をクリックすると、表示している色差の結果をもとにエミュレーションプロファイルを再調整します。
- ◆ インクやメディアの組合せにより、フィードバックの効果が得られない場合があります。
- ◆ フィードバックは 3 回まで実行できます。

38 **次へ** をクリックします。

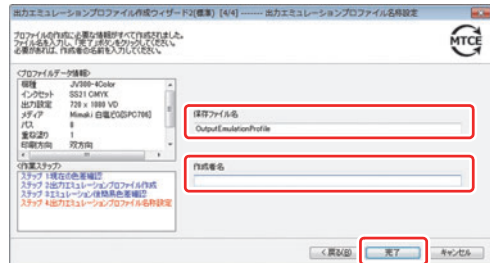


◆フィードバックを実行した場合は、色差の値と目視確認の結果から採用したいフィードバック回数を選択して、**次へ** をクリックします。

39 ファイル名と作成者名を入力します。

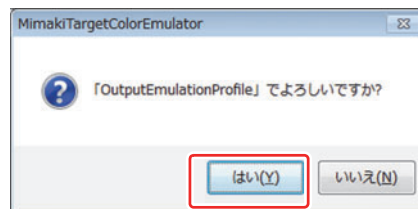
重要!

◆日本語環境以外で使用するプロファイルには、日本語を入力しないでください。



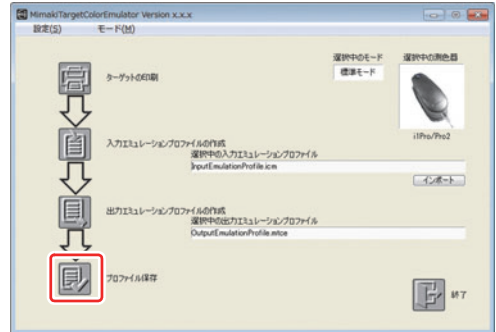
40 **完了** をクリックします。

41 **はい** をクリックします。

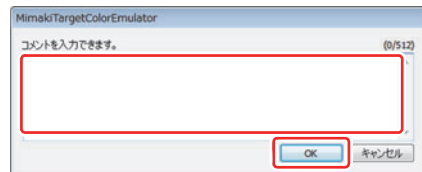


エミュレーションプロファイルの保存

- 1 “プロファイル保存” をクリックします。

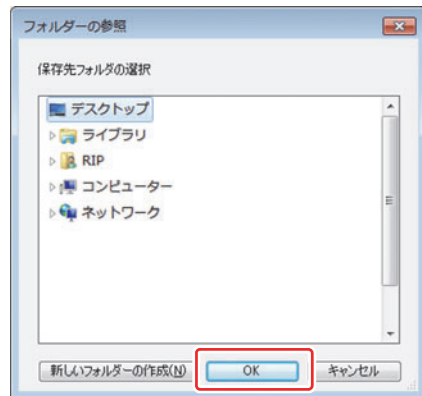


- 2 任意のコメントを入力し、**OK** をクリックします。

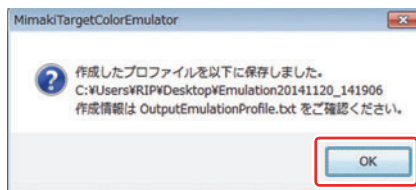


- ◆ 入力したコメントは、エミュレーションプロファイル保存時に同じフォルダに保存されるテキストファイルに記録されます。
- ◆ ターゲットの印刷条件や、ミマキの印刷条件を入力しておくことで、どのような条件でエミュレーションプロファイルを作成したか、記録を残すことができます。

- 3 ファイルの保存先を指定し、**OK** をクリックします。

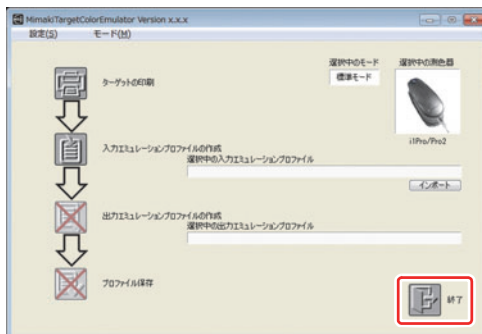


4 **OK** をクリックします。



◆ 指定したフォルダ内に、自動的に「EmulationYYYYMMDD_HHmmSS」フォルダを生成し、生成したフォルダ内に、入力/出力エミュレーションプロファイルと作成情報を記載したテキストファイルを保存します。
(YYYY=西暦、MM=月、DD=日、HH=時間、mm=分、SS=秒)

5 “終了” をクリックします。



3章 エミュレーションプロファイルを インストールする

作成した入力/出力エミュレーションプロファイルを
RL6/RLP5 にインストールします。

プロファイルマネージャーの起動	3-2
入力エミュレーションプロファイルのインストール	3-2
出力エミュレーションプロファイルのインストール	3-4
プロファイルマネージャーの終了	3-5

プロファイルマネージャーの起動

- 1 MTCE が終了していることを確認し、RL6/RLP5 のプロファイルマネージャーを起動します。



RL6 の場合

- ◆ プロファイルマネージャーの起動方法については、別冊『RL6 インストールガイド』の「プロファイルのインストール」を参照してください。

RLP5 の場合

- ◆ プロファイルマネージャーの起動方法については、別冊『RLP5 リファレンスガイド プリンタ共通編』の「プロファイルのインストール」を参照してください。

入カエミュレーションプロファイルのインストール

- 1 [プロファイル]メニューより[入カプロファイルのインストール]を選択します。



RL6 の場合

- ◆ もしくは、 をクリックします。

RLP5 の場合

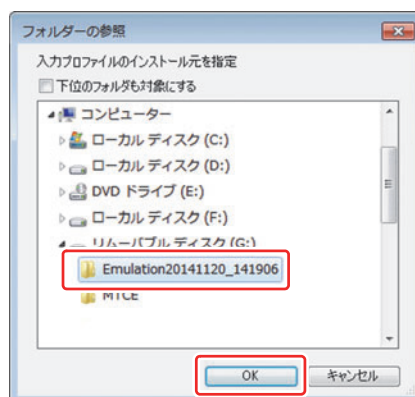
- ◆ もしくは、 をクリックします。

- 2 プロファイルを保存しているフォルダを指定します。

- 3 **OK** をクリックします。

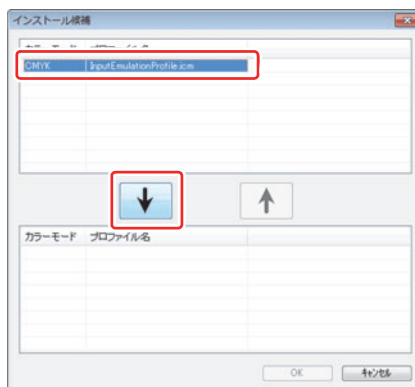


- ◆ 指定したフォルダに対象となるプロファイルがない場合、エラーメッセージを表示します。



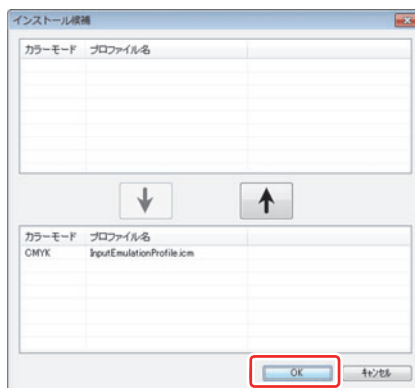
4 インストールするプロファイルを選択します。

- 選択したプロファイルが青色に反転します。



5 ↓ をクリックします。

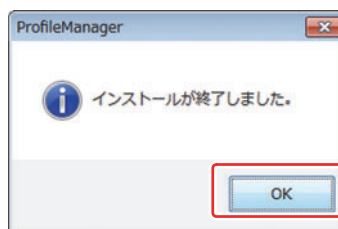
- 選択したプロファイルが上のリストから消え、下のリストに表示します。



6 OK をクリックします。

7 OK をクリックします。

- プロファイルマネージャーのリストに追加したプロファイルが表示され、プロファイルのインストールが完了します。



出力エミュレーションプロファイルのインストール

- 1 [プロファイル]メニューより[デバイスプロファイルのインストール]を選択します。




RL6 の場合

◆ もしくは、 をクリックします。

RLP5 の場合

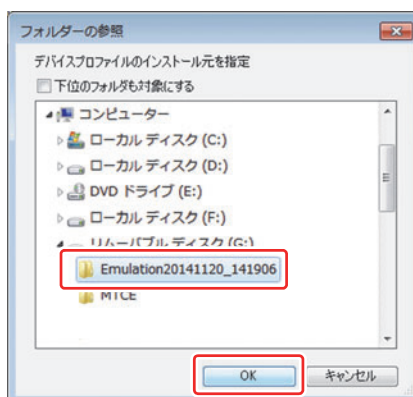
◆ もしくは、 をクリックします。

- 2 プロファイルを保存しているフォルダを指定します。

- 3  をクリックします。




◆ 指定したフォルダに対象となるプロファイルがない場合、エラーメッセージを表示します。

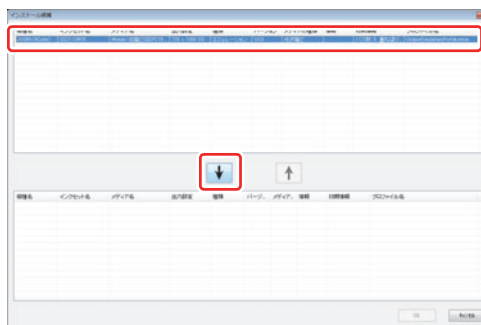


- 4 インストールするプロファイルを選択します。

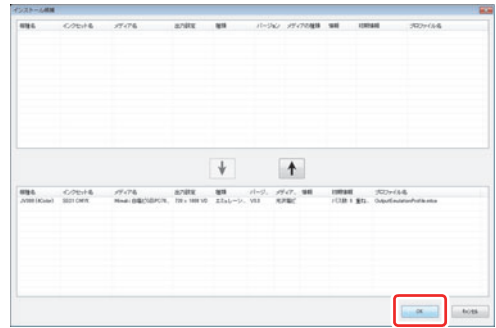
- 選択したプロファイルが青色に反転します。

- 5  をクリックします。

- 選択したプロファイルが上のリストから消え、下のリストに表示します。

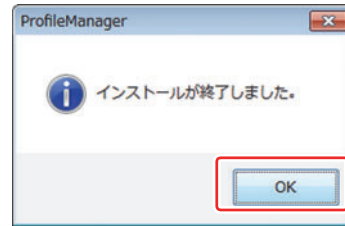


6 **OK** をクリックします。



7 **OK** をクリックします。

- プロファイルマネージャーのリストに追加したプロファイルが表示され、プロファイルのインストールが完了します。



プロファイルマネージャーの終了



1 エミュレーションプロファイルを RL6/ RLP5 にインストールしたら、プロファイルマネージャーを終了します。

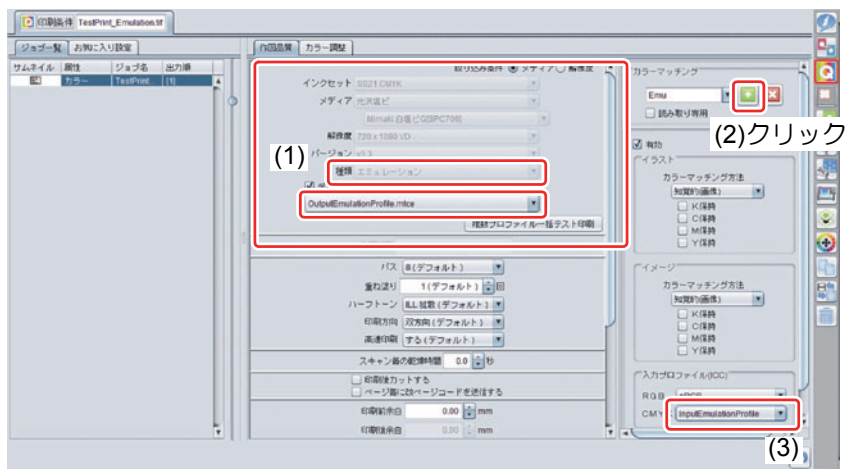
4章 エミュレーションプロファイルを使用して印刷する

インストールした入力/出力エミュレーションプロファイルを使用して印刷します。


RasterLink6 でエミュレーションプロファイルを使用して印刷する	4-2
RasterLinkPro5 でエミュレーションプロファイルを使用して印刷する	4-3

RasterLink6 でエミュレーションプロファイルを使用して印刷する

- 1 RL6 を起動し、 (印刷条件) をクリックします。
- 2 作図品質画面で、印刷条件を設定します。
 - (1) 3章で RL6 にインストールした、出力エミュレーションプロファイルを選択します。種類が“エミュレーション”になります。
 - (2) カラーマッチングのプリセットに任意の名称を入力し、 をクリックします。
 - (3) 入力プロファイル(ICC)の“CMYK”に、3章で RL6 にインストールした、入力エミュレーションプロファイルを選択します。



重要! ◆ 作成した入力 / 出力エミュレーションプロファイルは、セットで使用してください。

- 3  (実行) をクリックします。

重要! 以下の条件ではエミュレーションできません。

- ◆ カラーマッチングを“OFF”に設定
- ◆ カラーマッチング方法を“グレーバランス”に設定
- ◆ カラーマッチング方法を“絶対的な色域を保持”に設定
- ◆ 画像が RGB データ

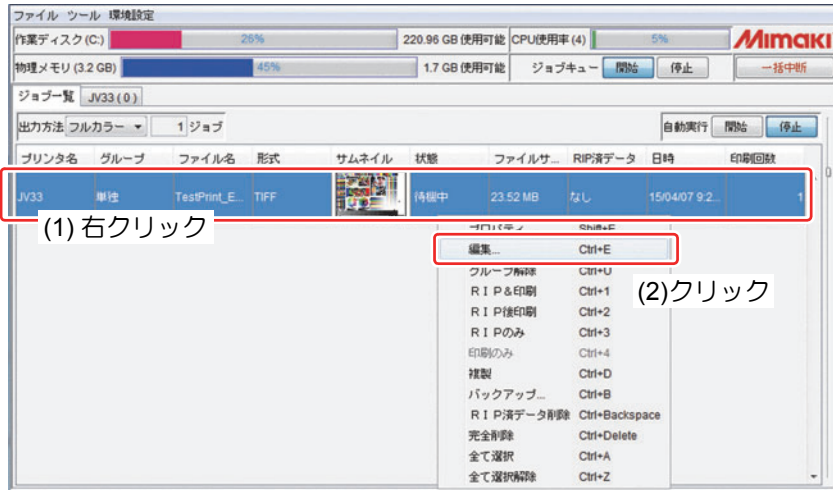
以下の条件ではエミュレーションの結果に対して色が調整されるため、エミュレーションの精度が低下します。

- ◆ カラー調整設定を変更
- ◆ 純色 (C, M, Y, K) の保持を設定
- ◆ 色置換設定を適用

RasterLinkPro5でエミュレーションプロファイルを使用して印刷する

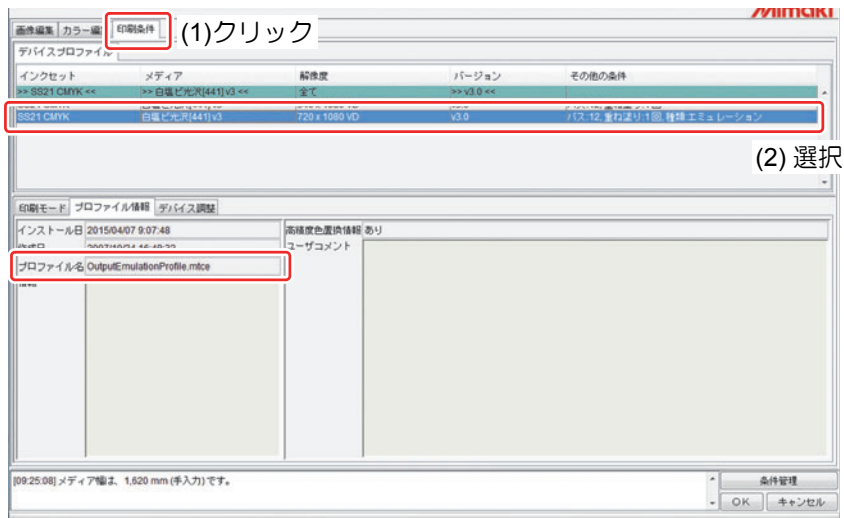
1 RLP5 を起動し、エミュレーションしたいジョブの編集画面を開きます。

- (1) エミュレーションしたいジョブを選択し、右クリックします。
- (2) 表示されたメニューから、[編集]を選択します。



2 [印刷条件] タブで、出力エミュレーションプロファイルを設定します。

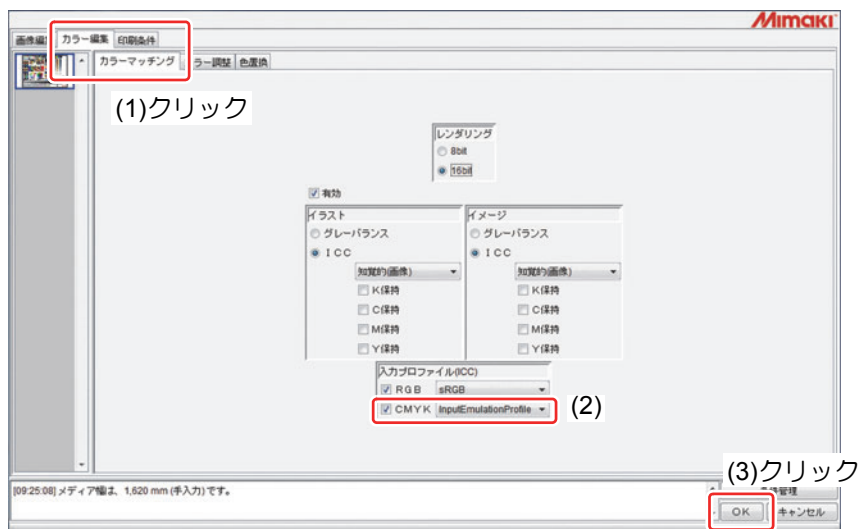
- (1) [印刷条件] タブをクリックします。
- (2) 3章で RLP5 にインストールした、出力エミュレーションプロファイルを選択します。



- ◆ 出力エミュレーションプロファイルは、[その他の条件]に”種類:エミュレーション”と表示されます。
- ◆ プロファイルのファイル名は、下画面の [プロファイル情報] タブで確認できます。

3 [カラー編集]タブの[カラーマッピング]タブで、入力エミュレーションプロファイルを設定します。

- (1) [カラー編集]タブをクリックし、[カラーマッピング]タブを開きます。
- (2) 入力プロファイル(ICC)の"CMYK"に、3章でRLP5にインストールした、入力エミュレーションプロファイルを選択します。
- (3) **OK** をクリックし、編集画面を閉じます。

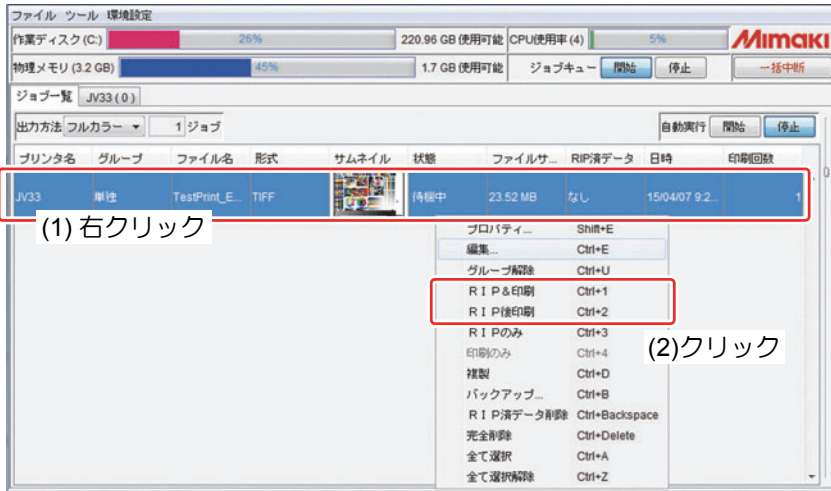


重要!

◆ 作成した入力/出力エミュレーションプロファイルは、セットで使用してください。

4 エミュレーションプロファイルを設定したジョブを印刷します。

- (1) エミュレーションプロファイルを設定したジョブを選択し、右クリックします。
- (2) 表示されたメニューから、[RIP &印刷]または、[RIP 後印刷]を選択します。



重要!

以下の条件ではエミュレーションできません。

- ◆ [カラーマッチング] タブで "有効" のチェックをはずす。
- ◆ [カラーマッチング] タブで "グレーバランス" に設定
- ◆ [カラーマッチング] タブの ICC で "絶対的な色域を保持" に設定
- ◆ 画像が RGB データ

以下の条件ではエミュレーションの結果に対して色が調整されるため、エミュレーションの精度が低下します。

- ◆ [カラー調整] タブの設定を変更
- ◆ [カラーマッチング] タブで、純色 (C,M,Y,K) の保持を設定
- ◆ [色置換] タブで、色置換設定を適用

付録

エラーメッセージと対処方法	付録 -2
エミュレーションプロファイルを作成しても色が 合わない場合	付録 -3
測色時のエラーと対処方法	付録 -4
測色時のご注意 (i1 Pro)	付録 -5
測色結果が異常な場合に起こりうる現象	付録 -5
測色の途中で測色の異常を発見した場合	付録 -5
測色結果ファイルの測色結果を確認する	付録 -6
測色器を認識しない場合	付録 -9
測色器のドライバを確認する	付録 -9
測色器のドライバを更新する	付録 -10

エラーメッセージと対処方法

エラーメッセージを表示したときの対処方法を紹介します。

エラーメッセージ	表示条件	対処方法
ドングルが見つかりませんでした。ドングルを続してから、起動し直してください。	起動	<ul style="list-style-type: none"> MTCE がインストールしてある PC にドングルを接続して、起動してください。
アプリケーションの初期化に失敗しました。	起動	<ul style="list-style-type: none"> MTCE のシステムに致命的なエラーが発生しました。MTCE を再インストールしてください。
ドングルが接続されていないため、処理を中止しました。正しくドングルを接続してから、もう一度実行してください。	各種操作時	<ul style="list-style-type: none"> MTCE の起動中は黒いドングルは外さないでください。
選択されたファイルはエミュレーションプロファイルではありません。	入力エミュレーションプロファイルのインポート	<ul style="list-style-type: none"> 入力エミュレーションプロファイル以外のファイルを指定していないか確認してください。
選択されたファイルは、〇〇モード用の入力エミュレーションプロファイルではありません。	入力エミュレーションプロファイルのインポート	<ul style="list-style-type: none"> MTCE で選択中のモード (標準 / 多色 / 高精細モード) と同じモードで作成した入力エミュレーションプロファイルを指定してください。
指定されたファイルはサポートされていません。	出力エミュレーションプロファイル作成ウィザード	<ul style="list-style-type: none"> デバイスプロファイル以外のファイルを指定していないか、確認してください。 対応していないプリンタやインクセットのプロファイルを選択していないか確認してください。
測色データが異常です。(20203)	測色ファイル読み込み	<ul style="list-style-type: none"> 読み込んだファイルが測色値ファイルではありません。測色値ファイルをもう一度読み込んでください。
ICC プロファイル作成中にエラーが発生しました。(20719)	測色ファイル読み込み	<ul style="list-style-type: none"> 読み込んだ測色値から、エミュレーションプロファイルを作成できません。エミュレーションプロファイルを作成用の測色値ファイルであるか、確認してください。 ファイルが正しいのにエラーメッセージを表示してしまう場合は、測色ミス可能性があります。印刷したチャートに濃度ムラなどが無い確認し、もう一度測色してください。
指定した測色データは異なるチャートの測色データです。測色データを確認してください。(3000)	測色ファイル読み込み	<ul style="list-style-type: none"> MTCE で選択中のモード (標準 / 多色 / 高精細モード) 用のチャートの測色値ファイルを読み込んでください。
対応していない形式の測色値ファイルを読み込みました。正しい形式で保存した測色値ファイルを選択してください。	測色ファイル読み込み	<ul style="list-style-type: none"> 測色結果が分光反射率で保存されています。Lab 値で保存したファイルをご使用ください。
プロファイル作成中はCMYKのTIFFファイルしか出力できません。CMYK モードの TIFF ファイルを選択してください。	テストプリント	<ul style="list-style-type: none"> MTCE では、RGB の画像を出力することはできません。
メディアサイズが取得できませんでした。プリンタとの接続を確認してください。	画像編集	<ul style="list-style-type: none"> プリンタとの接続がされているか、ケーブルを確認してください。 プリンタが認識されているか、Windows 上で確認してください。

エミュレーションプロファイルを作成しても色が合わない場合

エミュレーションプロファイルを作成しても色が合わない場合、以下の対策方法があります。

- (1) 測色値ファイルの測色結果を確認してください。詳細は付録 -5「測色時のご注意 (i1 Pro)」を参照してください。
- (2) ミマキの印刷システムの印刷条件(インクセット構成、メディア、解像度、等)を、ターゲットの印刷システムで設定した印刷条件に近い条件に変更してください。
- (3) 色が合わないデータがベクターデータの場合、RL6/ RLP5 の色置換機能を使用してください。

測色時のエラーと対処方法


測色器の種類	現象	対処方法
i1 Pro	初期化動作が完了しない。	<ul style="list-style-type: none"> • ベースプレートに書かれているシリアル ID と、i1 Pro の裏面に書かれているシリアル ID が一致しているか、確認してください。 • i1 Pro がベースプレートの上にはっきりと置かれているか、確認してください。
	測色エラーが発生する。	<ul style="list-style-type: none"> • 測色は 1 列ごとに行います。列を測色している間は、i1 Pro のボタンを押し続けてください。 • 測色する列の始め (左側の白地) と終わり (右端の白地) で、1 秒ほどボタンを押し続けたまま待つようにしてください。 • i1 Pro を一定の速度でゆっくり動かしてください。 • ルーラー上を滑らせているときに、チャートから i1 が浮かないようにしてください。(力を込めて押し付ける必要はありません)
	接続エラーが発生する。	<ul style="list-style-type: none"> • ドライバが正しくインストールされているか、確認してください。 • 差し込む USB のポートを変更してください。(USB ハブは使用しないでください) • 他の USB 機器を外してください。
	ライトがついたままになってしまう。	<ul style="list-style-type: none"> • 測色を中止し、USB ケーブルを抜いてください。少し時間をおいてから、ケーブルを挿しなおしてください。
i1 iO	測色エラーが発生する。	<ul style="list-style-type: none"> • i1 Pro が、i1 iO の台座にはっきりとはめ込まれているか、確認してください。パチンと手ごたえがあるまで、i1 Pro を台座に押し込んでください。(力を込めてはめ込む必要はありません) • 3 つのマーカの位置決めを行う際、枠のついたパッチの中心よりやや外側で位置決めを行ってください。
	接続エラーが発生する。	<ul style="list-style-type: none"> • i1 Pro/i1 iO の 2 つのドライバが正しくインストールされているか、確認してください。 • i1 iO がしっかりと組み上げられているか、確認してください。 • 差し込む USB のポートを変更してください。(USB ハブは使用しないでください) • 他の USB 機器を外してください。

測色時のご注意 (i1 Pro)

測色の操作によって、測色結果が異常値になってしまうことがあります。MTCE は、測色値をもとにエミュレーションプロファイルを作成します。測色結果に異常があると正しい結果が得られません。

重要!

- ◆ MeasureTool5.0 の画面上では、測色の進捗に合わせて測色済みパッチの色が濃い色で表示されます。
- ◆ 測色の途中で、濃い色で表示されているパッチの色と実際に測色しているチャートを見比べて、間違っていないか確認するようにお願いします。(右の図の場合、2行目の測色が1つずつずれてしまっています。)
- ◆ チャートは、測色しやすい平らな場所に設置してください。



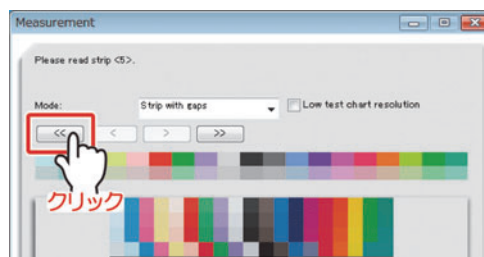
測色結果が異常な場合に起こりうる現象

要素	異常な測色値での調整結果
色差の確認	色差の値が、色によって大きくばらつきます。

測色の途中で測色の異常を発見した場合

測色の途中であれば、測色し直すことが可能です。

- 1 測色画面の << をクリックし、測色異常があるラインまで戻ります。



2 異常のあるラインを再び測色します。

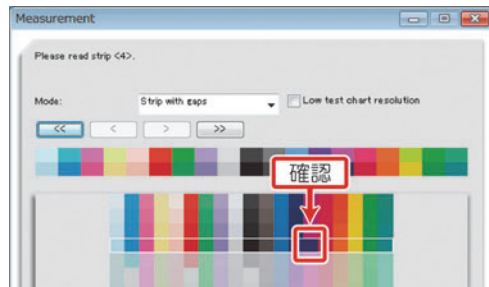
ライン全体がずれている場合

左端の何も印刷されていない部分でi1 Proのボタンを押しながら静止する時間を長めにとってからスライドさせてください。



途中のパッチの色が異常な場合

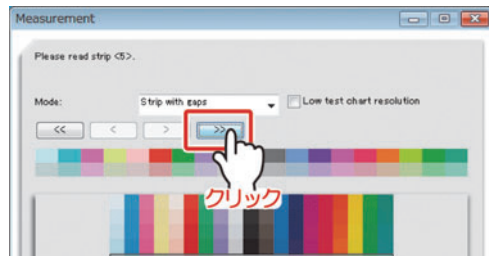
i1 Pro をスライドさせる速度を遅くしてください。



3 正しく測色できるまで、手順 1 ~ 2 を繰り返します。

4 >> をクリックして、測色の続きのラインまで進めます。

その後、測色を続けてください。

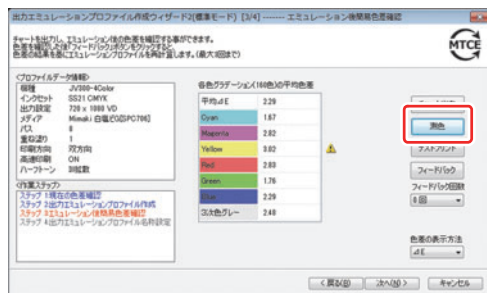


測色結果ファイルの測色結果を確認する

調整結果に異常が発生し、異常な測色結果の可能性がある場合に測色結果ファイルの測色結果を確認する手順を説明します。

1 測色 をクリックできる画面を表示します。

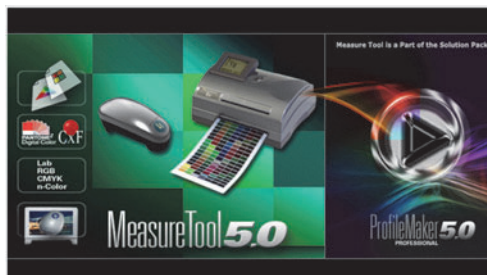
2 **測色** をクリックします。



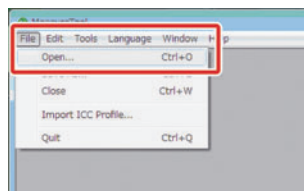
3 **測色する** をクリックします。



4 MeasureTool5.0 が起動します。



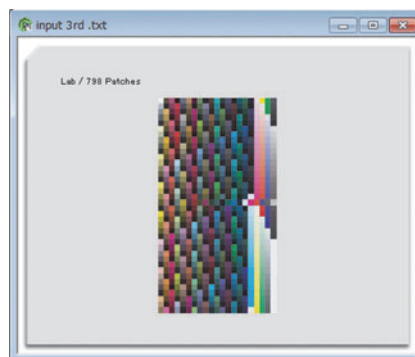
5 [File] → [Open] で、測色結果ファイルを選択します。



6 測色結果のプレビューが表示されます。

測色したチャートとプレビューを見比べて、測色に異常がないか確認します。

異常な測色結果がある場合は、測色をやり直してください。



測色器を認識しない場合

PCに測色器を接続したときにドライバのインストールに失敗する場合があります。この場合、ドライバの更新が必要になります。

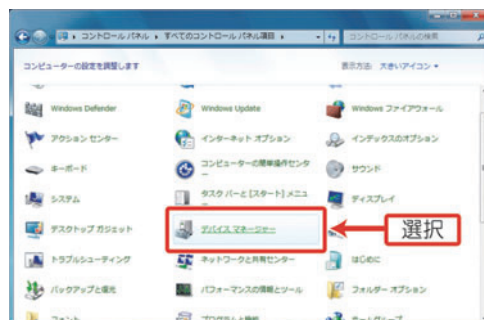
- (1) 最初に、“測色器のドライバを確認する”を参照してドライバが正常にインストールされているかを確認します。
- (2) ドライバの更新が必要な場合、“ドライバを更新する”を参照してドライバを更新してください。

測色器のドライバを確認する

1 測色器をPCに接続します。

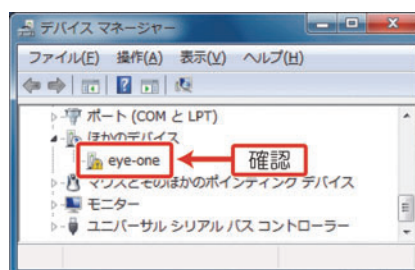
2 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。

3 デバイスマネージャーを開きます。



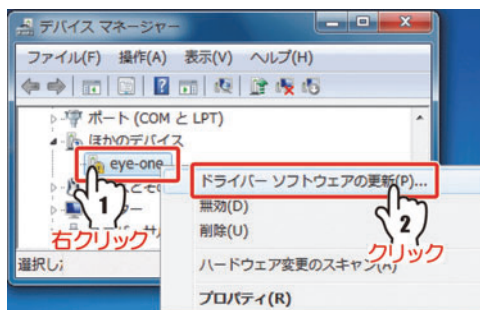
4 更新の必要があるかを確認します。

- 右のように接続している測色器の名前の隣に“⚠マーク”がある場合、更新が必要です。

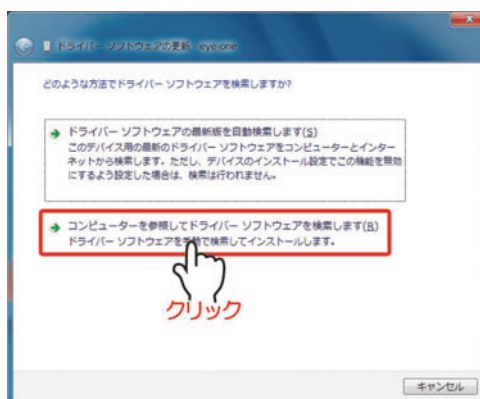


測色器のドライバを更新する

- 1 更新する測色器を選択し、右クリックでショートカットメニューを表示させ、“ドライバーソフトウェアの更新”をクリックします。



- 2 “コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します”をクリックする。



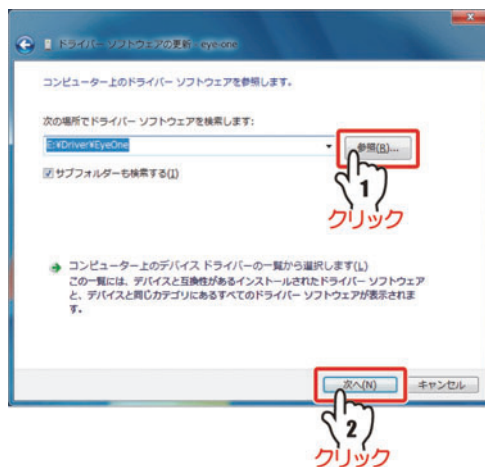
- 3 MTCE のインストール CD を CD ドライブにセットします。

4 **参照** をクリックし、次の場所を指定します。

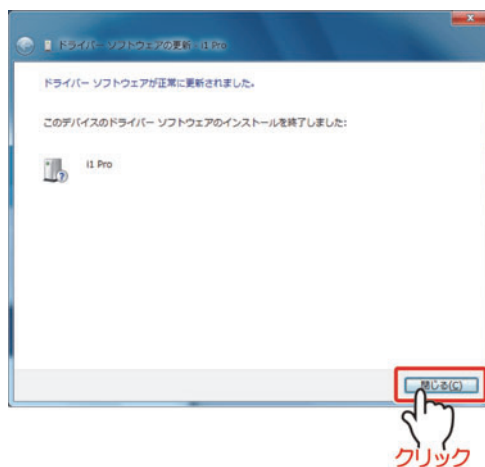
- [CD ドライブ]:\Driver\EyeOne

5 **次へ** をクリックします。

- ドライバーソフトウェアをインストールします。



6 **閉じる** をクリックします。



索引

M

Mimaki Target Color Emulator について v
MTCE を起動する 1-3

R

RasterLink6 でエミュレーションプロ
ファイルを使用して印刷する 4-2
RasterLinkPro5 でエミュレーション
プロファイルを使用して印刷する 4-3

い

インク色表記 iii
印刷するメディアを準備する 1-2

え

エミュレーションプロファイル作成の
流れ 2-2
エミュレーションプロファイルの保存 ... 2-27
エミュレーションプロファイルを
作成しても色が合わない場合 付録 -3
エラーメッセージと対処方法 付録 -2

お

オプション設定
表示 1-5
ラベル 1-5
オプションを設定する 1-5, 1-6

か

画像ファイル名 1-5

こ

ご注意 iii
この取扱説明書について iii

し

出力エミュレーションプロファイルの
インストール 3-4
出力エミュレーションプロファイルの
作成 2-16
初期設定の印刷条件 1-5

せ

全体の流れ vi

そ

測色時のエラーと対処方法 付録 -3
測色器を選択 1-4
測色器を認識しない場合 付録 -9
測色結果が異常な場合に起こりうる
現象 付録 -5
測色結果ファイルの測色結果を
確認する 付録 -6
測色時のご注意 付録 -5
測色の途中で測色の異常を発見した
場合 付録 -5

た

ターゲットの印刷 2-3
ターゲットの印刷システムをセットアップ
する 1-2

て

テストプリント時の印刷条件 1-5

と

ドライバ
確認する 付録 -9, 付録 -10
更新する 付録 -10

に

入力エミュレーションプロファイルの インストール	3-2
入力エミュレーションプロファイルの 作成	2-4

い

プロファイルデータ情報	1-5
プロファイルマネージャーの 起動	3-2, 4-2, 4-3
プロファイルマネージャーの終了	3-5

ほ

本文中の表記	iii
--------------	-----

ま

マークについて	iv
---------------	----

み

ミマキの印刷システムをセット アップする	1-3
-------------------------------	-----

